

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	アスベストワカール・プロ 呈色液	
製品説明	アスベスト簡易測定試薬	
会社名	株式会社 ユニケミー	
住所	〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬1-11-1	
担当部門	技術部	
電話番号	(052)682-5069	FAX番号 (052)681-8646
緊急連絡先	同	上

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体	区分2
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
金属腐食性物質	区分外

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入：ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入：蒸気)	区分外
急性毒性(吸入：粉塵，ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A-2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない
生殖細胞変異原性	区分1B
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性，麻醉性)
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1(肝臓)，区分2(神経)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

## 環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分外

水生環境有害性(慢性) 区分外

## ラベル要素

絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ

長期または反復暴露による臓器(肝臓)の障害

長期または反復暴露による臓器(神経)の障害

## 注意書き

### 安全対策

取り扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。

熱、火花、裸火などの着火源から遠ざける。

容器は密閉する。

移送、攪拌する場合は、容器及び受器をアースする。

防爆型の機器を使用する。

火花を発生しない工具を使用する。

ミスト、蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。

取り扱い後はよく手を洗う。

### 救急処置

吸入した場合；新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、  
医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合；口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合；流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合；汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは、  
医師の処置を受ける。取り扱った後、手を洗う。

暴露した場合；医師の処置を受ける。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

## 保管

容器は密閉して換気の良い場所で保管する。施錠して保管する。

## 廃棄

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

## 3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分名	：	エタノール
含有量	：	0.5～5%
化学式又は構造式	：	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH
官報公示整理番号(化審法)	：	2-202
C A S N o .	：	64-17-5
国連分類	：	クラス3(引火性液体) 等級
国連番号	：	1170

## 4. 危険有害性の要約

分類の名称	引火性液体
火災・爆発性	引火点が低く、室温で容易に引火する。蒸気は空気と爆発性のある混合気体を生じる。
有害性	高濃度の蒸気は麻酔作用があり、蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、嘔吐などを起こす。目、鼻、のどの粘膜に繰り返し接触すると炎症を起こす。
環境影響	水生生物に対し有害である。

## 5. 応急措置

目に入った場合	直ちに流水で15分以上洗う。速やかに医師の診断を受ける。
皮膚についた場合	直ちに大量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の診断を受ける。
誤飲した場合	直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせる。意識のないときはなにも与えてはならない。速やかに医師の診察を受ける。

## 6. 火災時の措置

消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、火災にさらされた表面及び周囲に散水して冷却する。 適切な保護具(耐熱着衣)を使用する。 消火作業は風上から行なう。
消火剤	水、炭酸ガス、粉末、乾燥砂などの消火剤を使用する。

## 7. 漏出時の措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護メガネ、防毒マスク)を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。

風上から作業し、風下の人を退避させ、他漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

漏洩した液は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させ、密閉できる空容器に回収する。

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

## 8. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	皮膚に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用する。 屋内作業場の場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱う。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実にこなう。
保管	密栓して冷暗所に保管する。

## 9. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	1000ppm、1880mg/m <sup>3</sup> :TLV - TWA (ACGIH,2002 年)
設備対策	必要に応じて局所排気装置を設ける。
保護具	防毒マスク、保護服、保護メガネ、ゴム手袋等

## 10. 物理的及び化学的性質

外 観	赤色透明液体
臭 気	芳香臭
沸 点	約 80
比 重	0.79(20 )
溶 解 度	水：自由に混合

## 11. 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定である。
反応性	強酸化剤と接触すると反応することがある。
その他	日光、熱、酸化剤を避けて保管する。

## 12. 有害性情報

刺激性(皮膚、目)	皮膚、粘膜に対して刺激性がある。
急性毒性	高濃度の蒸気は麻酔作用があり、蒸気を吸入すると鼻、のどが刺激され、頭痛、めまい、悪寒などを起こす。 ラット(経口):LD50=14g/kg
慢性毒性	中枢神経、肝臓、血液に影響を与え、注意力低下、動作緩慢、肝臓障害、貧血を起こすことがある。
変異原性	染色体異常;ハムスター(生体外);陽性 小核;マウス(生体内・腹腔内);陽性
生殖毒性	データ無し。
催奇形性	データ無し。

### 13. 環境影響情報

移動性	データ無し。
残留性/分解性	データ無し。
生体蓄積性	データ無し。
環境影響/生態毒性	高濃度で水生生物に対し有害である。

### 14. 廃棄上の注意

スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行なう。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に、産業廃棄物処理業者に委託処理する。

### 15. 輸送上の注意

#### 国内規制

消防法	危険物第4類 引火性液体アルコール類 水溶性液体
船舶安全法	危規則第3条危険物告示別表第5 引火性液体
航空法	施行規則第194条危険物告示別表第3 引火性液体類

国連分類 クラス3(引火性液体) 等級

国連番号 Iアルコール：1170

#### 輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては直射日光を避け、容器に漏れのないことを確認して転倒・落下・損傷がないよう、積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

### 16. 適用法令

化学物質管理促進法(P.R.T.R)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	施行令別表第1 危険物(引火性の物) 施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物(政令第97号)

### 17. その他

記載内容の問い合わせ先

(株)ユニケミー 技術部 TEL.052-682-5069

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、製品を取り扱う事業者提供されるものです。この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

また、含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。